

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゆいわーく茅野 人財養成・交流事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 (市民活動センター『ゆいわーく茅野』)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,324,554 円 (うち支援金: 2,365,000 円)

事業内容

茅野市は、公民協働のパートナーシップのまちづくりをすすめてきたが、市民自身が地域課題に気づき、主体的にその解決のために行動するという部分では大きな課題があり、主体的な活動者等の育成には仕掛けが必要である。

平成28年11月に市民活動センター「ゆいわーく茅野」がオープンし、翌年から自主的・主体的に活動する人財養成、または活動者の交流プログラムを実施した。2年間の実績から成果と課題を検討し、更なる成果を生み出す講座プログラムとした。

- ・人財養成・育成講座 4事業
- ・交流事業 3事業



【講座の様子 (ファシリテーター養成講座)】

事業効果

人財養成講座は、全ての講座においてワークショップ等の実践を取り入れることで、受講生自身の実践につながる講座となった。交流事業は、関係づくりに視点を置き展開した。

【令和元年度新たな創出事業の具体例 (別紙あり)】

- ・行政が行うワークショップのファシリテーターをこれまでの講座受講生から選出し、行政と市民の協働事業の実現
- ・「みんながせんせい みんながせいと」をテーマに、自己表現の場、市民の多様な魅力を知る場、市民同士が知り合いにつながる機会の創出
- ・ニーズをつなぐオブジェを、異分野多世代の交流をしながらアイデア出しから作成まで市民と協働で実施 等 14件

【令和元年度講座実績 (別紙あり)】

- ・ファシリテーター体験講座 21名
- ・ファシリテーター養成講座 11名
- ・ざわつく活動リレー 40名
- ・伝えるコツ講座 61名
- ・まちづくりコーディネーター養成講座 10名 (うち職員2名)
- ・まちづくり講座 8名
- ・みんなのがっこう 300名 (延べ460名)
- ・市民活動実践講座 9名

今後の取り組み

- ・この補助金を活用して行った事業について、運営委員会で費用対効果、住民ニーズなどを評価し、今後も継続して開催できるよう令和2年度に向けて全体の見直しを実施した。補助金に採択され講座等を実施できたことでオープンからチャレンジの事業を開催することができ、持続可能なサイズで今後も実施するための実践と研究の3年間であった。
- ・今年度の公共施設ワークショップの市民ファシリテーターは、これまで行ってきた人財育成が行政との協働に活かされ、今後の展開を考えられる機会になった。①育てた人財を地域の資源としていかに活用していくか、②これまでの受講生や参加者が地域貢献の気持ちを醸成するためのフォローアップ、の仕掛けづくりがこれからの『ゆいわーく茅野』のミッションである。

※自己評価【 A 】

- 【理由】
- ・目標を上回る創出事業数
 - ・実践と講義を組み合わせたプログラムのため、受講生本人の実践に繋がった。
 - ・育成した人財が行政と協働できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある